

達成度：R2.3.31の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

健康福祉課の目標（令和3年度）自己評価書

健康福祉課長 岩井 照夫

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>人権啓発の推進と人権相談業務の実施（人権推進室）</p> <p>様々な人権問題の解決をめざし、人権尊重の意識を高める啓発活動を行い、関係機関と連携・情報共有を図り、相談者に対し適切な支援を行います。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・町広報誌で啓発するとともに、国や県から配布された啓発物資を活用し広く人権啓発を行いました。 ・酒々井小学校及び大室台小学校児童に人権ポスターの作成を依頼し、小学校6年生が作成した人権ポスター161点を中央公民館で展示し啓発を行いました。 ・人権ポスターの中から最優秀作品2点を啓発ポスターとして作成し、町内公共施設等に掲示しました。 ・児童虐待及びDV対策については関係機関（警察・印旛健康福祉センター・児童相談所等）と連携し、支援が必要なケースの対応を行いました。また、研修に参加し、職員の資質向上に努めました。 ・人権相談及び子ども相談につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し実施しました。
<p>隣保館の運営（人権推進室）</p> <p>福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる地域に密着したコミュニティセンターとして各種事業を展開し、相談事業や人権課題の解決を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発事業：人権ふれあい講座(人権セミナー)の開催。 ・教室：フラワーアレンジメント教室、高齢者音楽健康教室 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・各種啓発事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し実施しました。 ・各教室については、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し令和3年10月まで中止・11月以降実施しました。

<p>第2期酒々井町地域福祉計画の推進（福祉班）</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度～令和4年度を計画期間とした地域福祉計画を推進します。 <p>障害者福祉の推進(福祉班)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度～令和4年度を計画期間とした第3次障害者計画及び令和3年度～令和5年度を計画期間とした第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画を推進します。 障害者（身体・知的・精神）福祉に関する相談支援体制の充実を図ります。 <p>高齢者外出支援タクシーの推進（福祉班）</p> <ul style="list-style-type: none"> 75歳以上で運転免許証を有していない高齢者がタクシーを利用する際に支払う運賃等の一部を助成し、高齢者の日常生活の利便性の向上を図ります。 <p>高齢者福祉の推進（福祉班）</p> <ul style="list-style-type: none"> 敬老事業として今年度88歳を迎えられる方へ顕彰状等を贈呈し、高齢者に敬意を 	<p>2</p> <p>3</p> <p>5</p> <p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> 策定委員の公募を行い3名の委員を決定しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域福祉推進委員会を開催することができませんでした。 障害者（児）の自立した生活を支え、障害者（児）の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援するため、指定特定相談事業者を利用者に紹介しました。 障害者（児）とその家族のニーズの把握や地域での生活、福祉サービスの利用など相談支援事業を通じて、個々の状況に応じた対応につながりました。 相談支援事業所は町外にある社会福祉法人に加えて、令和4年度から町内の社会福祉法人でも相談支援ができるように整備を図りました。 「新しい生活様式」に対応した移動支援として、高齢者がタクシーを利用する際に運賃等の一部を助成しました。 高齢者へのタクシーの助成券の交付により、外出時の利便性の向上が図られ、交付枚数も前年度と比較すると約1.2倍に増加しました。 交付人数467名（参考：前年度394名） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、老人福祉大会、
---	-------------------------------------	--

<p>表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に備えての緊急対応策（緊急通報装置貸与事業、避難行動要支援者名簿登録事業、高齢者見守りネットワーク事業）を実施します。 <p>ひとり親家庭福祉の推進（福祉班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響から生活困窮するひとり親世帯に支給される国の特別給付金について、対象者への支払事務を円滑に実施する。 	<p>4</p>	<p>80歳の青年式を開催できませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長寿者（88歳の方）への顕彰状および記念品をお届けしました。 対象者95名 ・緊急通報装置貸与事業 65歳以上の一人暮らしの高齢者、ひとり暮らしの重度身体障害者、65歳以上の高齢者世帯で世帯に属する方のいずれかが介護認定者または重度身体障害者のいる世帯に緊急通報装置を貸与し、急病やケガ等の緊急時の対応や必要に応じて協力員による安否確認を行うと共に緊急時の救急搬送にもつながりました。 貸与者67名 ・避難行動要支援者名簿登録制度 民生委員児童委員を中心に見守り活動、同登録制度の周知を実施しました。名簿の登録を随時更新しました。 また、消防署や社会福祉協議会、地域包括支援センターとも情報を共有し、災害時に備えて平常時から活用しています。 登録者数226名 ・低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金のうちひとり親世帯向けの給付は県事業であったが、基準日以降の対象者の申請受付事務を実施しました。 ・令和4年1月以降の追加事業として、令和3年度の非課税世帯と家計急変世帯に1世帯当たり10万円を支給しました。 支給世帯 1,429世帯
--	----------	--

介護保険事業の推進(介護保険班)

- ・団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年に向けて、地域で高齢者を支える「地域包括ケアシステム」の構築が求められています。そのために在宅医療・介護連携や認知症総合支援事業をはじめとした各種地域支援事業を推進し、在宅介護への支援体制強化を図っていきます。

3

- ・地域包括ケアシステム構築に向け、下記の地域支援事業を地域包括支援センターへ委託し実施しました。

① 在宅医療・介護連携推進事業

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、多職種連携の会の開催を見送りました。そこで、広報誌「多職種連携の会たより第3号」の作成にむけて、保健センター、包括支援センターとの話し合いを行い、ケアマネージャーへのアンケートを実施し、その結果や新規開業した医療機関の紹介など掲載し、医療介護連携の推進のための情報提供を行いました。
- ・「酒々井町の医療・介護マップ」の内容を更新しました。

② 認知症総合支援事業

- ・認知症初期集中支援チーム員会議を、2か月に1回(偶数月)に開催しました。4月、8月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送りました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため「しすいオレンジカフェ」の開催は中止していたが、3月に内容を変更(飲食提供なし)、人数を制限するなどして開催しました。
- ・認知症と、認知症初期集中支援チームの啓発チラシ「認知症かな?と思ったらお気軽にご相談ください」を作成し、高齢化の進む地域に配布しました。

③ 地域ケア会議推進事業

- ・地域の方が生活するうえで抱える問題を抽出し、解決策を探っていく会議について、当初5回開催予定の個別会議を2回開催しました。個別会議(3回)と推進会議は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。

<p>母子保健事業の推進（地域保健班）</p> <ul style="list-style-type: none"> 産後ケア事業（訪問型）を行い、育児不安を抱える保護者などの支援を行い、不安の軽減に努めます。 <p>がん検診の推進（健康づくり推進班）</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染予防対策を行いながら、集団検診および個別検診を実施します。 <p>介護予防事業の推進（健康づくり推進班）</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の動向を見つつ、感染予防に努めながら、しすいハート体操や、認知症予防のコグニサイズなどの教室を開催します。 	<p>4</p> <p>5</p> <p>3</p>	<p>④生活支援体制整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 順天堂大学の学生と共同で、健康づくりのためのチラシを作成しました。 生活支援コーディネーター便りを作成し、配布をしました。 地域の困りごとを解決するために4回協議体を開催しました。 <p>・令和4年5月から事業を開始し、妊娠届出時に周知するとともに、必要と思われる方には個別に勧奨を実施しました。 産後ケア事業利用状況 実人数1人／延べ5人</p> <p>・屋内の換気や消毒、受け付け時間により人数を区切るなど感染対策を行い、集団検診を実施しました。また、受診者の利便性を高めるため、個別検診も実施しました。</p> <p>集団検診 胃がん検診 903 人 結核・肺がん検診 1,444 人 大腸がん検診 1,807 人 乳がん検診（マンモグラフィ）1,000 人 〃（エコー）187 人</p> <p>個別検診 乳がん検診（マンモグラフィ）137 人 〃（エコー）15 人 大腸がん検診 166 人</p> <p>・新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言やまん延防止等重点措置期間中は、教室を実施することができなかったため、</p>
---	----------------------------	---

<p>歯科保健の推進（健康づくり推進班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・う蝕や歯周病にかかる小学生、中学生が増加しないよう、ブラッシング指導の内容を見直しし、感染症対策を行ったうえで、コロナ禍でもブラッシング指導が行えるよう各学校と連携を図り、ブラッシング指導を実施します。 <p>新型コロナウイルス感染症のまん延防止の対策（新型コロナウイルス感染症対策室）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症のまん延防止の対策として、感染予防のための情報の周知およびワクチン接種、65歳以上の高齢者および高齢者施設等への従事者へのPCR検査を実施します。 	<p>4</p> <p>4</p>	<p>一部の実施に限られました。</p> <p>しすいハート体操 4回開催 20人参加</p> <p>健康太極拳 2回開催 20人参加</p> <p>初めてのヨガ 4回開催 28人参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラッシング指導および講話は、感染対策を行ったうえで酒々井小学校全学年と酒々井中学校1年生で実施しました。大室台小学校は緊急事態宣言等で実施できませんでした。また、夏季休暇を利用して磨き残しの歯垢の確認と正しい歯磨きの方法を家庭で実践するため、リーフレットと染め出し剤を全ての児童・生徒に配布しました。 ・町広報紙や町ホームページ、ツイッター、ポスターの掲示、防災行政無線を活用し感染予防対策のための情報提供および周知に努めました。 ・新型コロナワクチン初回（1・2回目）接種は、12歳以上の方を対象に町内5医療機関で個別接種を実施した。また、18歳以上の方を対象にプリミエール酒々井で集団接種を実施しました。 ・新型コロナワクチン追加（3回目）接種は、初回接種が完了した者の内、18歳以上の方を対象に町内5医療機関で個別接種を実施しました。 ・5歳から11歳までの小児への新型コロナワクチン接種は、町内3医療機関で令和4年3月下旬から初回接種を開始しました。
--	-------------------	--

<p>医療費適正化対策の推進（国保年金班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険の健全な運営を確保し、疾病等による保険給付を適正に行うため、レセプト点検等による医療費の適正化を進めるとともに、被保険者に対して、医療費通知及びジェネリック（後発医薬品）差額通知を発送し、医療費の抑制に努めます。 <p>特定健康診査の推進（国保年金班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病等の生活習慣病の発病や重症化を予防し、メタボリックシンドロームの該当者等を減少させるため、特定健診及び特定保健指導を実施します。土・日曜日の健診実施による受診機会の拡大や、未受診者や不定期受診者に対する効果的な受診勧奨により、受診率の向上を図ります。 	<p>令和3年度接種者数（令和4年3月27日現在VRSシステムより）</p> <p>初回接種（1回目） 17,536人（内小児18人）</p> <p>初回接種（2回目） 17,429人</p> <p>追加接種（3回目） 8,852人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者対象のPCR検査は、町内3医療機関で98名が実施しました。 ・65歳未満のPCR検査は、保健センターで配布の検査キットを用いて300名が実施しました。 ・町内施設等従事者のPCR検査は、検査キットを用いて22施設、延べ2,127名が実施しました。 <p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レセプト点検システムを活用した点検実施により、効率的に医療費の適正化が図られました。また、医療費通知を年4回、ジェネリック（後発医薬品）差額通知を年3回発送し、医療費の抑制を図りました。 <p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、集団健診を中止し、町内2医療機関での個別健診で7か月間の期間を設けて実施しました。令和3年度はAIを活用した受診勧奨を新たに行い、受診率を伸ばすことが出来ました。 <p>令和3年度特定健康診査受診率（4/8現在）34.4% （参考）令和2年度特定健康診査受診率 25.0%</p>
---	--	---

<p>後期高齢者医療制度の運営（国保年金班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療制度については、被保険者の資格・医療の給付並びに保険料の賦課徴収等が適切に執行できるよう、保険者である千葉県後期高齢者医療広域連合と連携を図ります。 <p>国民年金制度の啓発（国保年金班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会保険労務士による年金相談や窓口での年金相談と広報活動により、年金制度の意義・役割について周知に努めます。 	<p>4</p> <p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県後期高齢者医療広域連合と連携を図り、被保険者の資格、医療費の給付並びに保険料の賦課徴収等が適切に執行できました。しかし、制度内容や保険料の収納に理解を得られない被保険者が一部いる状況です。 ・社会保険労務士による年金相談を年6回実施しました。また、毎月、町広報紙に年金関係記事を掲載し、制度の普及啓発を図りました。
---	-------------------	--

<p>チャレンジ目標</p> <p>子ども家庭総合支援拠点事業（人権推進室）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉法の改正に伴い、市区町村に「子ども家庭総合支援拠点」設置が義務化され、地域の子ども達が健やかに成長するため、子育ての悩みや、家庭内の問題など様々な支援を行う「子ども家庭支援員」を配置します。 ・子どもと保護者が安心して暮らせるよう、関係機関と連携し、虐待の未然防止及び早期発見、再発の防止を図ります。 <p>避難行動要支援者名簿登録制度の個別支援計画の推進(福祉班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・75歳以上だけで暮らしている世帯等で、災害時要援護者名簿に登録されている人数は223名（令和3年4月1日現在）です。民生委員児童委員・主任児童委員を中心に、見守り活動などを通して避難行動要支援者名簿登録制度の啓発を行います。 ・災害時に安全な場所へ避難するための人的な援護が必要な人に対し、災害時に迅速かつ的確な情報伝達や避難支援を行うため、地域における共助による避難支援体制の整備を図ることを目的としていることから、登録に際して「避難支援者」の更なる充実に努めます。 <p>新型コロナウイルスワクチン接種の推進（新型コロナウイルス感染症対策室）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症のまん延を防止するため、医療機関および関係機関と連携し、ワクチン接種を実施します。 	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭支援員1名を配置し関係機関との連携について中心的な役割を担い、家庭訪問を中心とした支援業務の充実及び虐待の未然防止・再発防止を図りました。 <ul style="list-style-type: none"> ・災害時要援護者名簿に登録されている方で、記載情報が更新されていない者もいたため、避難行動要支援者名簿への登録を促しました。また、民生委員・主任児童委員の協力により、新たな名簿登録に向けた取り組みも強化しました。 ・提出された避難行動要支援者名簿は、データ化を図り、更新作業を行いました。 ・関係機関との情報共有を行いながら、災害時に迅速な対応を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> ・事業の共通理解を図るため、町内5医療機関と打ち合わせのための会議を全5回開催し、ワクチン接種を速やかに実施することにつなげました。
---	----------------------------	---